

発行 日本共産党南知多支部



連絡先 南知多町 内海内塩田77-3 (南知多町議会議員) 内田 保 電話 0569-62-1816 携帯 090-2776-7529

内田たもつだより

内田たもつ ホームページ http://uchida-tamotsu.jimdo.com



日本共産党発行 **赤旗** 日刊 3497円 日曜版 930円

南知多町 太陽光 発電工事

山の復旧工事 町民の目で徹底監視を 2月13日 第2回住民説明会 約140名参加

被害地権者・契約地権者へ 誠実な対応を

2月13日18時から町総合体育館 サブアリーナで、延期されていた第2回住民説明会が開かれました。

冒頭、事業者「イーエスエス社長 木下氏から謝罪がありました。続いて、山崎常務等から工事中止の経過と具体的な復旧計画や地権者等へのアンケートをもとにした資料の説明がありました。その後、フロアーからの質問に答えました。

また、たもつだより199号で示していた町民の皆さんからの要望に対しての回答もありました。

住民説明会に先立ち2月9日に、

内海4議員と町・県の職員と住民の被害者へ、業者から事前説明がありました。この時に内田議員は、山の復旧工事と合わせて、すでに契約して代金が払われている地権者に「お金をもどせ」などと言わないように等の要望を、事業者に対して出しました。



奥遠廻間 (2022.2.9)

内海での事業計画 一時撤退

ディーエスエスは、内海地区で100力以上の事業計画を申請していましたが、「12月の朝日新聞報道や大村知事の会見により監視の目がきつくなった」「小規模に分けての申請」「住民との対話不足」「隣地の方への迷惑行為」「町道等の損壊」について議論を重ね、その後、経産省や1月14日の内海4町議・県・役場関係者等との話し合いで「熟慮した結果、白紙を考えた」と経過を説明しました。

内海地区の太陽光事業は、とりあえず中止し、山の復旧に力を注ぐとの立場を再度表明しました。

完全撤退でなく「一時撤退」!

もし今後、町民の理解が得られれば、5年後か10年後か太陽光事業も展開したい意思もある立場も明らかになりました。そのため、すでに立てられている電柱は今のところ撤去しないことを公式に示しました。

水害・暴風の心配の必要性等 住民の声を聞いて

ディーエスエスが行った地権者や隣地の方へのアンケートには「測量してちゃんとやって欲しい。水害を

心配している。景観は大切に思う」

「地質調査しているのか?クジラの化石などがある可能性があるので、造成はこれ以上やめてほしい」「内海の町が安全になることを願っている」「災害がなく、きれいにしてもうらえれば問題ない」「住民の意見を聞いて対応してほしい」「誠意ある対応と今後どうなるか見える化してほしい」等様々な立場で心配の声がありました。

参加者から、岐阜県の恵那市や三重県のいなべ市の事例をひき、「なぜ初めから測量をしてきちんとやらなかったのか」という厳しい質問も出ました。「コンプライアンスのない会社は信頼がおけない」との声に木下社長は「全くそのとおりで申し訳ない。反省してやっていきたい」と答えました。

売った土地 契約した土地は どうなるのか

アンケートでは、すでに契約した方からの心配の声も多くあります。「息子も農業するつもりがないので何とか買ってほしい」「地代も受け取っているし、特にない。未払いのものもどうなるのか心配」「早く登

(川柳コーナー)

この町の主権者は私たちです
「南知多町スゴイね」「やったね」「元気もらいました」と友人からの着信メール。なかなか市民の声が届かぬ社会状況で、横暴な企業の開発を一時にしろストップさせた。住民こそ主権者です。

損壊した町道・農業用水路等は

ディーエスエスは、町道の損壊、ため池のフェンス損壊、コンクリート舗装の損壊等の復旧工事については、誠実に取り組んでいくとの姿勢を示しました。

瀬木田で農業をしている方からは「山の貯水が少なくなり、排水溝をきちんと作らないと下の水田に水が流れてきてしまい、水田がつぶれてしまふのではと心配している」との声もあり、対応していきたいと回答しました。



瀬木田地区 (2022.1.22)